

令和8年4月30日
山梨県農政部畜産課
課長 土橋 宏司
電話 055-223-1605 (内線 5250)

報道関係者各位

令和8年度 県立八ヶ岳牧場 夏期預託放牧を開始します
～アニマルウェルフェアに配慮した飼養環境を提供します～

県立八ヶ岳牧場では、県内畜産の振興を目的として、県内畜産農家から乳用牛・肉用牛の育成牛等を預かる「夏期預託放牧」を実施しています。

本取組は昭和26年から継続しており、本年度も、広大な草地を活用した放牧を通じて、健全な家畜生産と農家の経営安定を支援します。

- 1 放牧期間 : 令和8年5月11日(月) ～ 10月下旬
- 2 放牧家畜(牛)の受入日 : 令和8年5月11日(月)～13日(水)
- 3 放牧場所 : 県立八ヶ岳牧場 天女山分場(面積: 283ha)
北杜市大泉町西井出8240
- 4 放牧頭数 : 約350頭
- 5 利用者 : 県内畜産農家 約25戸
- 6 取材可能日 : 原則、令和8年5月11日(月)のみ
※取材を希望される場合は、5月8日(金)までに畜産課へご連絡ください。
なお、ドローンによる撮影は行えません。

放牧には、次のようなメリットがあります。

- ・ 育成時に栄養豊富な牧草をたっぷり食べ、放牧地を駆け回ることにより、丈夫な成牛に育つ。
- ・ 将来の繁殖成績、産乳成績の向上が期待できる。
- ・ 農繁期における畜産農家の飼養管理労力を低減できる。
- ・ 牛の行動が制約されず、自由に飼料を採食できるため、ストレスが軽減されるなど、アニマルウェルフェア(快適性に配慮した家畜の飼養管理)が満たされやすい飼養環境となっている。